

活動名	ク ラ フ ト			
概要	自然の素材を使い、手作りの良さや作る喜びを感じてもらい、研修の思い出の作品を創作する。 また、道具の正しい使い方を学び、火や刃物の安全な取り扱い方法を知ることができる活動。			
教育的効果	(1)自然の素材を利用して、絵を描いたり、造形物を作ることにより、創造性を養う。 (2)試行錯誤を繰り返し、自然素材から自分だけの作品を作り上げる達成感を味わうことができる。 (3)自然素材の良さを味わい、自然をより身近に感じることで、自然に対する畏敬の念を育む。 (4)竹とんぼや凧等昔ながらの遊び道具作りを体験し、自然とともに活動する楽しさを味わうことができる。 (5)火や刃物を安全に扱い、道具をうまく使う、段取り良く作業を進めるという実体験を通じ、生活力を育む。 (6)次に利用する人のことを考えて、使った場所や借りた道具を清掃し、返却する体験を通じ、思いやる心を育む。			
諸条件	場所	<input type="checkbox"/> 野外活動棟 <input type="checkbox"/> 炊事場 <input type="checkbox"/> 雨天炊事場 <input type="checkbox"/> 調理場	対象	<input type="checkbox"/> 小学生以上(条件によっては保護者等付添いが必要) ※未就学児は要相談
	時期	通年	天候	雨天可(荒天時は相談)
利用団体準備事項	<input type="checkbox"/> 活動場所やクラフトメニューの選定 <input type="checkbox"/> 雨天時の対応を考える <input type="checkbox"/> 引率者の役割分担(例):①全体の管理(時間調整や指揮)を行う ②係(用具・火等)の指導 ③片付け指導 ④保健等 <input type="checkbox"/> 事前指導:グループや係分け、活動や作業の流れを指導			
利用団体準備物	<input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> 雑巾 <input type="checkbox"/> 救急用具(切り傷、やけど等に対応) <input type="checkbox"/> デザイン下書き(必要があれば) <input type="checkbox"/> 保管容器(箱、袋等) <input type="checkbox"/> 装飾物(リボン、色スプレー等) <input type="checkbox"/> 所内にある木々の実等を採用する場合は、事前に相談			
クラフトメニュー	焼き板	竹クラフト	キャンドルクラフト	その他
	焼き板・角型・動物型 ネイチャーアート(角型)	竹ばし 竹とんぼ	ツイスト型	火おこし ぬりばし 凧作り(ゴンボーイカ)
最大人数	晴天時:240人 雨天時:160人	120人	150人	凧作り 100人
グループ編成人数(標準)	5~10人	5~10人	5~6人	5~10人
施設からの貸出用具	24グループ分	12グループ分	24グループ分	火おこし 24グループ分 他は相談
	<input type="checkbox"/> クラフト材料(竹、ロウソク、杉板、ぬりばし、和紙、竹ひご、たこ糸等) <input type="checkbox"/> 道具(ナイフ、たわし、ボンド、キリ等) <input type="checkbox"/> カセットコンロ、塗料、薪・燃料 <input type="checkbox"/> 鉄缶、火ばさみ、マッチ等			
時間	2時間	竹ばし1.5~2時間 竹とんぼ2~2.5時間	2時間	火おこし(単独~1時間、焼き板と組合せ30分) ぬりばし30分~1時間 凧作り3~4時間
必須係	<input type="checkbox"/> 用具 <input type="checkbox"/> 火(鉄缶)	<input type="checkbox"/> グループ長 <input type="checkbox"/> 用具		
流れ(例)	1. 集合、説明◎ 2. 用具準備、鉄缶配置 3. 火付け、板焼き※1 4. 板磨き 5. 付属品取り付け 6. 色付け 7. 用具、残り火・灰の返却◎	1. 集合、用具貸出し◎ 2. 活動の流れ説明※2 3. 活動開始、作業の進度ごとに説明		ぬりばしは団体の引率者が説明・指導
リスク	<input type="checkbox"/> けが:ナイフやなた等による裂傷、とげ、坂道や階段での転倒、やけど			
施設職員支援内容	◎の活動で、施設職員は、利用団体へ用具の貸出し、返却時の点検を主として行う。(返却前の点検は利用団体で行うこと) ※の活動で、利用団体の要望に応じて施設職員から指導や支援を行うことができる。(指導や支援内容は下記を参照)			
	※1板の焼き加減について ※2大まかな作業工程について			